

BladeSymphony BS500

ファームウェアサポートマトリックス

来歴表

Rev	Date	
1	2012/07/13	初期リリース
2	2012/08/03	ストレージ拡張ブレードサポート
3	2012/09/14	BS540A A1/B1サーバブレードサポート
4	2012/10/09	(1)サーバブレードファームウェア更新 ・BS520H:01-52/BS520A:02-22を追加 (2)バージョンと機能対応の分類にその他変更を追加
5	2012/11/1	(1)装置パラメータ サポートマトリクス追加 (2)サーバブレードファームウェア更新 ・BS520H:01-55/BS520A:02-26/BS540A:03-07を追加
6	2012/11/27	(1)マネジメントモジュールファームウェア更新 ・A0126, A0135を追加 (2)サーバブレードファームウェア更新 ・BS520H:01-59/BS520A:02-29/BS540A:03-10を追加 (3)Virtage (HVM) ファームウェア更新 ・01-30を追加
7	2013/03/01	(1)マネジメントモジュールファームウェア更新 ・A0145を追加 (2)サーバブレードファームウェア更新 ・BS520H:01-63/BS520A:02-33/BS540A:03-14を追加 (3)装置パラメータ更新 ・A0062を追加
8	2013/03/15	マネジメントモジュールファームウェア更新 ・A0145の修正内容#48を追加
9	2013/06/04	(1)マネジメントモジュールファームウェア更新 ・A0150を追加 (2)サーバブレードファームウェア更新 ・BS520H:01-70/BS520A:02-38/BS540A:03-20を追加 (3)装置パラメータ更新 ・A0067を追加 (4)Virtage (HVM) ファームウェア更新 ・01-40を追加
10	2013/12/01	(1)マネジメントモジュールファームウェア更新 ・A0155, A0160, A0165を追加 (2)サーバブレードファームウェア更新 ・BS520H A1/B1 :01-72, 01-87を追加 ・BS520A A1 :02-40, 02-42, 02-50を追加 02-33, 02-38のRev誤記修正 ・BS540A A1/B1 :03-21を追加 03-20のRev誤記修正 ・BS520H A2/B2 :04-15 を追加 (3)装置パラメータ更新 ・A0073を追加 (4)Virtage (HVM) ファームウェア更新 ・01-50, 01-51, 01-60を追加

1. マネジメントモジュール ファームウェアバージョンと対応機能

No.	機能及び変更点	分類			マネジメント モジュール ファームウェア	関連ファームウェア		備考			
		機能 追加	不具合 対策	その他 変更		サーバ プレート	Virtage (HVM)				
1	新規リリース	-	-	-	A0108	-	-				
2	BS520A A1 サーバブレードサポート	●			A0120	01-43 (BS520H A1/B1) 02-15 (BS520A A1)	-				
3	Emulex 8Gbファイバチャネルカードでの N+Mコールドスタンバイサポート	●									
4	リモートコンソールへのシングルサインオン機能サポート	●									
5	Webコンソールで更新ボタンが効かなくなる件の対策		●								
6	IPアドレス設定変更不具合対策		●								
7	Webコンソール使用時に例外エラーのログが採取される件の対策		●								
8	ストレージ拡張ブレードサポート	●									
9	BS540A A1/B1 サーバブレードサポート	●									
10	Emulex 10Gb CNAポート分割時のAddMACサポート	●			A0125	01-52 (BS520H A1/B1) 02-22 (BS520A A1)	-				
11	Emulex 10Gb CNA情報のN+Mコールドスタンバイ引継ぎサポート	●									
12	静音モードサポート	●									
13	Webコンソールからの Hitachi 1Gb LANスイッチモジュール(40ポート)の設定サポート	●									
14	CLIコンソール入力支援機能サポート	●									
15	Webコンソールでの表示・設定項目の追加 ・保守区分表示 ・Webログ保存 ・電源モジュール最適化制御機能設定 ・E-Mail通知機能設定 ・Webコンソール表示文字列の選択コピー対応	●									
16	CLIコンソールでの表示・設定項目の追加 ・Current WWN, Original WWN, Current MAC, Original MAC表示 ・電源OFF順序設定 ・Virtage (HVM) ファームウェア表示 ・Blade Server Manager (BSM) 設定	●									
17	WebコンソールからのLPARのブート設定サポート	●									
18	WebコンソールからのLANスイッチモジュール設定時、一つのポートに VLANが9個以上設定されている場合の表示、変更サポート	●									
19	WebコンソールのLink Fault Tolerance設定において リンクダウン検出時間とリンクアップ検出時間が逆に 表示される不具合を対策		●								
20	WebコンソールのSNMPマネージャ設定、NTPサーバ設定、 LDAPサーバ設定の入力に長い文字列が使えない不具合を対策		●								
21	WebコンソールのNTPサーバ設定で、ハイフンが入力できない 不具合を対策		●								
22	LDAP使用時にGuestロールが割当てられてしまう不具合を対策		●								
23	WebコンソールでLPARのネットワークセグメント識別子を 追加設定した場合、対象LPARに設定済みのVLAN情報等が デフォルトに戻ってしまう不具合を対策		●								
24	Webコンソール、もしくはCLIコンソールから、内蔵LANスイッチモジュールの デフォルトゲートウェイを設定した場合、実際には 内蔵LANスイッチモジュールに設定されない不具合を対策		●					A0126	↑	-	

25	Webコンソールから、内蔵LANスイッチモジュールのデフォルトゲートウェイを設定した場合、内蔵LANスイッチモジュールのコンフィグレーションに ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 <アドレス> vlan <vlan id> というエントリが存在するとデフォルトゲートウェイ設定がタイムアウトし、それ以降の内蔵LANスイッチモジュールへの設定ができなくなる不具合を対策		●				
26	マネジメントモジュールのhttp接続設定もしくはhttps接続設定を無効にすると、Webコンソールからのリモートコンソール起動に失敗する不具合を対策		●				
27	Emulex 10Gb CNA iSGSI設定のN+Mコールドスタンバイ引継ぎサポート	●			A0135	01-59	-
28	Webコンソールからのインポートサポート	●				(BS520H A1/B1)	
29	32GB LRDIMMをサポート	●				02-29	
30	内蔵LANスイッチモジュールのコンフィグレーションが以下となっている場合に、内蔵LANスイッチモジュールのIPアドレス更新を実施すると、IPアドレス更新に失敗することがある不具合を対策 ・VLANが多数(2000個程度以上)設定されている ・スパンニングツリーが有効		●			(BS520A A1)	
31	Webコンソールに3セッション以上同時にログインすると、Webコンソールで、タイムアウトが発生することがある不具合を対策		●			03-10	
32	Webコンソールから環境ログをダウンロードし、その環境ログファイルをテキストエディタで開くと、メッセージが乱れる不具合を対策		●			(BS540A A1/B1)	
33	WebコンソールからBMCもしくはEFIの設定中にBMCのリスタートが発生すると、リスタートが発生したタイミングによっては、それ以降システム装置の電源をOFF/ONするまでの間以下の現象が発生する不具合を対策 ・当該ブレードのWebコンソールからのBMC及びEFIの設定に失敗 ・当該ブレードのPre-configureが失敗 ・当該ブレードへのN+Mコールドスタンバイ切替に失敗		●				
34	WebコンソールからBMCリスタートを実施し、その後画面をリフレッシュせずにリモートコンソール起動ボタンを押すと、リモートコンソール起動に失敗する不具合を対策		●				
35	CLIコンソールから名称がスペースのみのSNMPマネージャを登録すると、WebコンソールからそのSNMPマネージャを表示、変更、削除できない不具合を対策		●				
36	ファイバチャネルスイッチモジュールの電源ON監視タイムアウト時間を延長(60秒→180秒)			●			
37	マネジメントモジュールのSSHホスト鍵関連機能(情報表示、鍵の再作成)サポート	●			A0145	↑	01-40
38	HVMファームウェア割り当て中のHVMファームウェアアップデートサポート	●					
39	Hitachi Compute Systems Manager (HCSM) サポート	●					
40	HVM稼働時ダンプログ採取サポート	●					
41	HVM VNIC System Noの範囲拡張(1~1024) サポート	●					
42	ASSIST通報の信頼性向上(タイムアウト監視機能、通報失敗時のSEL/アラート採取機能)	●					

43	予備系サーバブレードに HVMに関する以下の設定がされていない状態でN+Mコールドスタンバイの復帰を行うと、予備系サーバブレードの Pre-configureに失敗する不具合を対策 ・ HVM IPアドレス、サブネットマスク ・ VNIC System No ・ HVMファームウェアの割り当て		●				
44	以下設定時に電源モジュール1台が障害状態となった場合に、稼働中のサーバブレードを強制電源切断することがある不具合を対策 ・ 電源容量拡張機能設定が有効 ・ 運用時電力制御(APC)設定が無効のサーバブレードが存在		●				
45	JPI/Cm2/Network Node Manager i 10-00で、MIBファイルのロードを実行すると、“Parse error: unexpected token:]”となり、MIBファイルのロードに失敗する不具合を対策		●				
46	SNMPに関する以下の設定に最大長の文字列を設定すると、その設定値がマネジメントモジュール内で正しく扱われず、SNMP機能が正しく動作しない不具合を対策 ・ システム管理者(最大長60文字) ・ システム設置場所(最大長60文字) ・ エンジンID文字列(最大長27文字) ・ ホスト名(最大長255文字) ・ コミュニティ名(最大長60文字) ・ ユーザ名(最大長32文字) ・ 認証パスワード(最大長64文字) ・ 暗号化パスワード(最大長64文字)		●				
47	電源モジュール最適制御機能が有効の状態ですイッチモジュールの電源をONした場合で、そのスイッチモジュールの電源ONを契機に電源モジュールの電源ONが行われた場合に、タイミング及びハードウェア構成によっては、稀に稼働中のサーバブレードを強制電源切断することがある不具合を対策		●				
48	10Gb LANパススルーモジュールサポート	●					
49	WebコンソールでOSのホスト情報の表示機能サポート	●			A0150		
50	Hitachi Compute Systems Manager (HCSM)でのEmulex 10Gb CNA iSCSI設定のN+Mコールドスタンバイ引継ぎサポート	●				01-70 (BS520H A1/B1)	↑
51	Hitachi Compute Systems Manager (HCSM)でのマネジメントモジュール、辞書、装置パラメータ、サーバブレードのファームウェアアップデートサポート	●				02-38 (BS520A A1)	
52	Webコンソールで参照可能ユーザーズガイド数の拡張(50→100)	●				03-20 (BS540A A1/B1)	
53	サーバブレードの権限を個別に設定したユーザアカウントでWebコンソールにログインした場合、権限を設定したサーバブレードのLPARタブ操作ができない不具合を対策		●				
54	Webコンソールからマネジメントモジュール、サーバブレード、スイッチモジュールのいずれかの管理LANのIPアドレスを変更すると、タイミングによってはマネジメントモジュールからJPI/ServerConductor/Blade Server Managerへのアラート通知が行われなくなることがあり、その結果以下が発生する不具合を対策 ・ N+Mコールドスタンバイ切替が失敗 ・ 予備系サーバブレードの診断が失敗 ・ サーバ起動監視がタイムアウト ・ シャーシ定期監視がタイムアウト		●				

55	複数のコンソールから同時に マネジメントモジュール・ファームウェアのアップデートを 実行すると、マネジメントモジュール・ファームウェアの アップデートに失敗し、タイミングによっては 待機系マネジメントモジュールが障害で起動できなくなる場合が ある不具合を対策		●				
56	N+Mコールドスタンバイ構成時に、JP1/ServerConductor/ Blade Server Managerから以下のいずれかを実施した場合に、 予備系サーバブレードの警告アラートが発行されることが ある不具合を対策 ・N+Mコールドスタンバイの予備系サーバブレードの診断実行 ・N+Mコールドスタンバイの予備系サーバブレードで Pre-configure実行		●				
57	HVM稼働中に、以下のどちらかが発生すると、それ以降 HVMを再起動するまでの間、マネジメントモジュールの コンソールからNTPサーバの設定変更をしても、HVMに 設定反映されない不具合を対策 ・マネジメントモジュール交替 ・マネジメントモジュールの両系のリポート		●				
58	マネジメントモジュールのWebコンソールまたは CLIコンソールから、1Gb LAN スイッチモジュール (20port) または、1Gb LAN スイッチモジュール (40port)または、 1/10Gb LANスイッチモジュールに以下の設定を実施すると、 設定に失敗する不具合を対策 ・接続種別を管理LANポートから直接接続するを設定 ・IPアドレスを0.0.0.0を設定		●				
59	以下のサービスの設定において、接続制限を有効にし、 ネットマスクに255.255.255.255を設定した場合、 許可したIPアドレスからも接続不可となる不具合を対策 ・Telnet ・FTP ・SSH		●				
60	WebコンソールからIPアドレス設定をする際に、以下の現象が 発生する不具合を対策 ・重複などの不正な設定値で設定ができてしまう ・エラーメッセージの指摘が曖昧なケースがある		●				
61	システム装置の電源復旧時にサーバブレードを自動的に電源ONする 機能において、以下の現象が発生する不具合を対策 ・システム装置の電源復旧後のサーバブレード電源ONまでの 待ち時間中にマネジメントモジュールが交替すると、 稀に、マネジメントモジュールが交替したタイミングで サーバブレードが電源ONすることがある ・システム装置の電源復旧後のサーバブレード電源ONが 何らかの理由で失敗すると、Webコンソールの Resource -> Modules -> サーバブレード -> サーバブレードxの状態タブの電源復旧時の 待ち時間(分)の表示が0となり、そこから更新されない		●				

62	Hitachi Compute Systems Manager (HCSM)でのHVM管理サポート	●			A0155	01-51	01-51	
63	Hitachi Compute Systems Manager (HCSM)でのHVM環境のN+Mコールドスタンバイ引継ぎサポート	●						
64	サーバブレードの電源ONがまれに失敗する不具合を対策		●					
65	N+Mコールドスタンバイ設定を有効時に、システム構成によっては、システム起動時のサーバブレードの自動電源ON機能に失敗し、サーバブレードが電源ONされないことがある不具合を対策		●					
66	マネジメントモジュールのWebコンソールまたはCLIコンソールから、SNMPマネージャのHostnameを0.0.0.0に設定すると、許可していないSNMPマネージャからもアクセスできてしまう不具合を対策		●					
67	マネジメントモジュールのWebコンソールでDCBスイッチモジュールのシリアル番号を表示できない不具合を対策		●					
68	BS520H A2/B2 サーバブレードサポート	●			A0160	↑	↑	
69	PCI拡張ブレードサポート	●						
70	以下の契機で発生するマネジメントモジュール交代時に、ごくまれにサーバブレード初期化異常終了が発生する不具合を対策 ・マネジメントモジュール障害発生時 ・コンソールから、リスタート実施時 ・マネジメントモジュールファームウェアアップデート時		●					
71	マネジメントモジュールのWebコンソールで、マネジメントモジュールのサーバ認証書またはBMCサーバ認証書をインポート後、表示した際に、姓と名が表示できない不具合を対策			●				
72	マネジメントモジュールのWebコンソールで、マネジメントモジュールのサーバ認証書またはBMCサーバ認証書をインポート後、表示した際に、組織単位(OU)が表示できない不具合を対策			●				
73	マネジメントモジュール時刻を過去に設定した場合にサーバブレード初期化異常終了が発生する不具合を対策		●		A0165	↑	↑	
74	LANスイッチモジュール用イーサポート一覧のサーバポート表示が不正となる不具合を対策		●					
75	マネジメントモジュール交替後に、ごくまれにマネジメントモジュールへ WebコンソールやHitachi Compute Systems Manager (HCSM)から接続不可となる不具合を対策		●					
76	HTTPS無効時にマネジメントモジュール WebコンソールからHCSM管理サーバ設定を行った場合、その後マネジメントモジュール Webコンソールから操作ができなくなる不具合を対策		●					

2. BS520H A1/B1サーバブレード ファームウェアバージョンと対応機能

No.	機能及び変更点	分類			サーバブレード ファームウェア	関連ファームウェア		備考
		機能 追加	不具合 対策	その他 変更		マネジ メント モジュール	Virtage (HVM)	
1	新規リリース	-	-	-	01-27 (EFI:01-23) (BMC:01-23)	-	-	
2	VirtualMediaSessionウィンドウのタイトルバーにBMCのIPアドレスを表し、ウィンドウごとの接続先を判別できるように変更	●			01-37 (EFI:02-12) (BMC:01-37)	A0120	-	
3	仮想メディアを使用していないときに仮想USBディスクがサーバOSから見える場合がある不具合を対策		●					
4	JPI/ServerConductor/BladeServerManagerで縮退したサーバブレードのCPUが「正常」と表示される不具合を対策		●					
5	ダンプログに含まれるサーバブレードの障害ログの種類を追加		●					
6	Emulex HBAのAdditional WWN設定機能とHBA情報引き継ぎ機能をサポート	●						
7	WebコンソールからEFI設定項目の“Interleave”を変更後にサーバブレードを起動するとCPUバスアンコレクタブルエラーを誤検出する場合がある不具合を対策		●					
8	ストレージ拡張ブレードサポート	●			01-43 (EFI:02-13) (BMC:01-44)	↑	-	
9	Emulex 10Gb CNAポート分割時のAddMACサポート	●			01-52 (EFI:03-04) (BMC:01-51)	A0125	-	
10	Emulex 10Gb CNA情報のN+Mコールドスタンバイ引き継ぎサポート	●						
11	OS起動および再起動時に、稀にカーソル点減したままハングアップすることがある不具合を対策		●					
12	Virtage利用環境で、システム起動および再起動時に、稀にEFI起動に失敗することがある不具合を対策		●					
13	入気温度が上限閾値を10秒程度超過し更に回復した場合、マネジメントモジュールに「吸気温度高温警告」のSELが記録されないことがある不具合を対策		●					
14	電源障害発生後の障害処理にて、再度電源投入要求があった場合に電源投入処理を実行してしまうことがある不具合を対策		●					
15	Webコンソール、EFI設定項目“DDR Voltage Level”選択デフォルト値をAutoから1.50Vに変更。1600MT/s対応のDDR3 RDIMM使用時にAutoもしくはForce to 1.35Vを選択した場合MemorySpeedは1333MT/s			●				
16	プロセッサのマクロコードを更新 Revision:M6D206D7_0000070B -> M6D206D7_0000070D			●				
17	一部の電源障害発生時「M/B電源障害」のSELが記録されないことがある不具合を対策。また、この障害によるN+Mコールドスタンバイ切替処理が行われない不具合を対策		●		01-55 (EFI:03-04) (BMC:01-54)	↑	-	
18	統合ファームウェアアップデートにおけるEFI更新時間を短縮			●				
19	Emulex 10Gb CNAのiSCSI N+Mコールドスタンバイ機能をサポート	●			01-59 (EFI:04-06) (BMC:01-56)	A0135	-	
20	32GB LRDIMMをサポート	●						
21	CPUコア縮退機能をサポート	●						
22	Windows Server 2012をサポート	●						
23	搭載規則に違反したメモリ構成の場合、システム起動時に再起動を繰り返し続ける不具合を対策		●					

24	起動時に“Boot Configuration Error”と表示される場合がある不具合を対策		●					
25	サーバブレード上のマイコンの負荷状況によって、まれに電源投入に失敗する問題を対策。 また、この問題によるN+Mコールドスタンバイ切替処理が行われない不具合を対策		●					
26	ストレージ拡張ブレード使用時に、拡張カードの構成違反を誤検出し、電源投入不可となる不具合を対策		●					
27	Webコンソールから、IPMIユーザのユーザ名、パスワード、使用者権限を設定できるように修正	●			01-63 (EFI:05-03) (BMC:01-59)	↑	-	
28	システム起動中に電源をOFFすると、ごくまれに次回以降の起動時に再起動を繰り返し続ける不具合を対策		●					
29	Emulex 10Gb CNAのiSCSI設定でDefault Gatewayを設定しているとN+M復帰に失敗することがある不具合を対策		●					
30	Virtage起動時にウォッチドッグタイマの働かない期間がある不具合を対策		●					
31	ストレージ拡張ブレードの、拡張カード等の障害発生時情報採取を強化、改善			●				
32	WebコンソールでOSのホスト情報の表示機能サポート	●			01-70 (EFI:06-03) (BMC:01-66)	A0150	-	
33	特定のハードウェア障害時、まれに障害を検出できず、障害情報を記録できない不具合を対策		●					
34	不当に「マネジメントモジュール障害(経路診断異常(SVP-サーバブレード間))」のSELが記録される不具合を対策		●					
35	システム起動中に電源をOFFすると、極まれに次回起動時に再起動を繰り返す不具合に対しての予防を含めた追加対策		●					
36	Emulex 10Gb CNAをiSCSIで使用し、かつLANケーブルが断線しているときにN+Mコールドスタンバイ切替処理に失敗することがある不具合を対策		●					
37	特定のUSBメモリを接続しているときに、まれにシステム起動中に停止することがある不具合を対策		●					
38	ストレージ拡張ブレード使用時に、拡張カードのPCI構成チェック異常を検出できない不具合を対策		●					
39	システム起動中に障害発生した場合の採取情報を強化、改善			●				
40	OS稼働中にBMCが再起動されると、まれにサーバブレードの電源をOFF/ONしてしまう不具合を対策		●		01-72 (EFI:06-05) (BMC:01-68)	↑	-	
41	サーバブレードの初回の電源投入操作時に電源ONされない場合がある不具合を対策		●					
42	システム起動中にバスアンコレクタブルエラーが発生し、再起動することがある不具合を対策		●					
43	まれにシステム起動中にウォッチドッグタイマがタイムアウトし、EFIが再起動する不具合を対策		●		01-74 (EFI:06-08) (BMC:01-68)	↑	-	
44	HVMとマネジメントモジュールが異なるネットワークに属している構成の場合に、HVM起動時に実行されるネットワーク接続テストで誤った結果が表示される不具合を対策		●		01-87 (EFI:07-23) (BMC:01-81)	↑	-	
45	ごくまれに BMCが無応答状態となり、サーバブレード SVP-BMC間通信障害が発生する不具合を対策		●					
46	サーバブレードの起動時またはBMCの再起動時に、まれにストレージ拡張ブレードの認識または初期化に失敗することがある不具合を対策		●					

47	マネジメントモジュール交替時に、まれにサーバブレード初期化異常終了が発生しサーバブレードの操作ができなくなる不具合を対策		●				
48	OS稼働中にBMCが再起動されると、「CPU1構成違反」のSELが不当に記録されることがある不具合を対策		●				
49	BMC再起動中にサーバブレードの電源投入またはリセットが行われると、以後サーバブレードのEFIが起動しなくなることがある不具合を対策		●				
50	Intel(R) Xeon(R) processor E5-2600 product family プロセッサのマクロコードを更新 M6D206D7_0000070D → M6D206D7_00000710		●				
51	SELのエントリ数が一定量に達したことを示す「SELエントリ上限注意」のSELを記録しないように修正			●			

3. BS520A A1サーバブレード ファームウェアバージョンと対応機能

No.	機能及び変更点	分類			サーバブレード ファームウェア	関連ファームウェア		備考
		機能 追加	不具合 対策	その他 変更		マネジ メント モジュール	Virtage (HVM)	
1	新規リリース	-	-		02-09 (EFI:01-13) (BMC:02-08)	A0120	01-10	
2	ストレージ拡張ブレードサポート	●			02-15 (EFI:01-15) (BMC:02-15)	↑	↑	
3	Emulex 10Gb CNAポート分割時のAddMACサポート	●			02-22 (EFI:02-04) (BMC:02-21)	A0125	↑	
4	Emulex 10Gb CNA情報のN+Mコールドスタンバイ引継ぎサポート	●						
5	静音モードサポート	●						
6	OS起動および再起動時に、稀にカーソル点減したままハングアップすることがある不具合を対策		●					
7	Virtage利用環境で、システム起動および再起動時に、稀にEFI起動に失敗することがある不具合を対策		●					
8	入気温度が上限閾値を10秒程度超過し、更に回復した場合、マネジメントモジュールに「吸気温度高温警告」のSELが記録されないことがある不具合を対策		●					
9	電源障害発生後の障害処理にて、再度電源投入要求があった場合に電源投入処理を実行してしまうことがある不具合を対策		●					
10	サーバOSをシャットダウンした際に、リモートコンソールアプリケーション表示が“No Signal”となるように変更			●				
11	Webコンソール、EFI設定項目“DDR Voltage Level”選択デフォルト値をAutoから1.50Vに変更。1600MT/s対応のDDR3 RDIMM使用時にAutoもしくはForce to 1.35Vを選択した場合MemorySpeedは1333MT/s			●				
12	プロセッサのマクロコードを更新 Revision:M6D206D7_0000070B -> M6D206D7_0000070D			●				

13	Broadcom 8ポートNICからのPXEブート時にハングアップすることがある不具合を対策		●		02-26 (EFI:02-05) (BMC:02-24)	↑	↑	
14	一部の電源障害発生時「M/B電源障害」のSELが記録されないことがある不具合を対策。また、この障害によるN+Mコールドスタンバイ切替処理が行われない不具合を対策		●					
15	統合ファームウェアアップデートにおけるEFI更新時間を短縮			●				
16	Emulex 10Gb CNAのiSCSI N+Mコールドスタンバイ機能をサポート	●			02-29 (EFI:03-06) (BMC:02-26)	A0135	↑	
17	CPUコア縮退機能をサポート	●						
18	Software RAID機能をサポート	●						
19	Windows Server 2012をサポート	●						
20	搭載規則に違反したメモリ構成の場合、システム起動時に再起動を繰り返し続ける不具合を対策		●					
21	起動時に“Boot Configuration Error”と表示される場合がある不具合を対策		●					
22	サーバブレード上のマイコンの負荷状況によって、まれに電源投入に失敗する問題を対策。 また、この問題によるN+Mコールドスタンバイ切替処理が行われない不具合を対策		●					
23	ストレージ拡張ブレード使用時に、拡張カードの構成違反を誤検出し、電源投入不可となる不具合を対策		●					
24	Webコンソールから、IPMIユーザのユーザ名、パスワード、使用者権限を設定できるように修正	●			02-33 (EFI:04-04) (BMC:02-29)	↑	↑	
25	TPM(Trusted Platform Module)が設定できない場合がある不具合を対策		●					
26	システム起動中に電源をOFFすると、ごくまれに次回以降の起動時に再起動を繰り返し続ける不具合を対策		●					
27	Emulex 10Gb CNAのiSCSI設定でDefault Gatewayを設定しているとN+M復帰に失敗することがある不具合を対策		●					
28	Virtage起動時にウォッチドッグタイマの働かない期間がある不具合を対策		●					
29	Red Hat Enterprise Linux 5.7でC-state遷移できない不具合を対策		●					
30	ストレージ拡張ブレードの、拡張カード等の障害発生時情報採取を強化、改善			●				
31	WebコンソールでOSのホスト情報の表示機能サポート	●			02-38 (EFI:05-03) (BMC:02-34)	A0150	↑	
32	特定のハードウェア障害時、まれに障害を検出できず、障害情報を記録できない不具合を対策		●					
33	不当に「マネジメントモジュール障害(経路診断異常(SVP-サーバブレード間))」のSELが記録される不具合を対策		●					
34	システム起動中に電源をOFFすると、極まれに次回起動時に再起動を繰り返す不具合に対しての予防を含めた追加対策		●					
35	Emulex 10Gb CNAをiSCSIで使用し、かつLANケーブルが断線しているときにN+Mコールドスタンバイ切替処理に失敗することがある不具合を対策		●					
36	特定のUSBメモリを接続しているときに、まれにシステム起動中に停止することがある不具合を対策		●					
37	ストレージ拡張ブレード使用時に、拡張カードのPCI構成チェック異常を検出できない不具合を対策		●					
38	システム起動中に障害発生した場合の採取情報を強化、改善			●				
39	OS稼働中にBMCが再起動されると、まれにサーバブレードの電源をOFF/ONしてしまう不具合を対策		●		02-40 (EFI:05-03) (BMC:02-36)	↑	↑	
40	サーバブレードの初回の電源投入操作時に電源がONされない場合がある不具合を対策		●					

41	Software RAIDからOS起動する場合に、システム起動中に「No Op ROM Space」のSELが記録され、OS起動に失敗する不具合を対策		●		02-42 (EFI:05-05) (BMC:02-36)	↑	↑	
42	Broadcom 1Gb NICを搭載した拡張カードを拡張カード1および2に搭載した場合に、システム起動中に「No Op ROM Space」のSELが記録される不具合を対策		●					
43	HVMとマネジメントモジュールが異なるネットワークに属している構成の場合に、HVM起動時に実行されるネットワーク接続テストで誤った結果が表示される不具合を対策		●		02-50 (EFI:05-10) (BMC:02-40)	↑	↑	
44	ごくまれに BMCが無応答状態となり、サーバブレード SVP-BMC間通信障害が発生する不具合を対策		●					
45	サーバブレードの起動時またはBMCの再起動時に、まれにストレージ拡張ブレードの認識または初期化に失敗することがある不具合を対策		●					
46	OS稼働中にBMCが再起動されると、「CPU1構成違反」のSELが不当に記録されることがある不具合を対策		●					
47	BMC再起動中にサーバブレードの電源投入またはリセットが行われると、以後サーバブレードのEFIが起動しなくなることがある不具合を対策		●					
48	Intel(R) Xeon(R) processor E5-2400 product family プロセッサのマイクロコードを更新 M6D206D7_0000070D → M6D206D7_00000710		●					
49	まれにシステム起動中にウォッチドッグタイマがタイムアウトし、EFIが再起動する不具合を対策		●					
50	SELのエントリ数が一定量に達したことを示す「SELエントリ上限注意」のSELを記録しないように修正			●				

4. BS540A A1/B1 サーバブレード ファームウェアバージョンと対応機能

No.	機能及び変更点	分類			サーバブレード* ファームウェア	関連ファームウェア		備考
		機能追加	不具合対策	その他変更		マネジメント モジュール	Virtage (HVM)	
1	新規リリース	-	-	-	03-04 (EFI:01-08) (BMC:03-02)	A0125	01-20	
2	FPGAを更新 (rev 0.38 -> 0.40)			●	03-07 (EFI:01-08) (BMC:03-04)	↑	↑	
3	Emulex 10Gb CNAのiSCSI N+Mコールドスタンバイ機能をサポート	●			03-10 (EFI:02-05) (BMC:03-06)	A0135	↑	
4	32GB LRDIMMをサポート	●						
5	CPUコア縮退機能をサポート	●						
6	Windows Server 2012をサポート	●						
7	搭載規則に違反したメモリ構成の場合、システム起動時に再起動を繰り返し続ける不具合を対策		●					
8	起動時に“Boot Configuration Error”と表示される場合がある不具合を対策		●					

9	サーバブレード上のマイコンの負荷状況によって、まれに電源投入に失敗する問題を対策。 また、この問題によるN+Mコールドスタンバイ切替処理が行われない不具合を対策		●				
10	ストレージ拡張ブレード使用時に、拡張カードの構成違反を誤検出し、電源投入不可となる不具合を対策		●				
11	Webコンソールから、IPMIユーザのユーザ名、パスワード、使用者権限を設定できるように修正	●			03-14 (EFI:03-04) (BMC:03-09)	↑	↑
12	TPM(Trusted Platform Module)が設定できない場合がある不具合を対策		●				
13	システム起動中に電源をOFFすると、ごくまれに次回以降の起動時に再起動を繰り返し続ける不具合を対策		●				
14	Emulex 10Gb CNAのiSCSI設定でDefault Gatewayを設定しているとN+M復帰に失敗することがある不具合を対策		●				
15	Virtage起動時にウォッチドッグタイマの働かない期間がある不具合を対策		●				
16	マネジメントモジュールのWebコンソール画面にOSのホスト情報を表示する機能をサポート	●					
17	不当に「マネジメントモジュール障害(経路診断異常(SVP-サーバブレード間))」のSELが記録される不具合を対策		●				
18	システム起動中に電源をOFFすると、極まれに次回起動時に再起動を繰り返す不具合に対しての予防を含めた追加対策		●				
19	Emulex 10Gb CNAをiSCSIで使用し、かつLANケーブルが断線しているときにN+Mコールドスタンバイ切替処理に失敗することがある不具合を対策		●				
20	特定のUSBメモリを接続しているときに、まれにシステム起動中に停止することがある不具合を対策		●				
21	CPUを2個搭載した時にオンボードLAN2、メザニンカード3、メザニンカード4のPCI Expressリンク障害が検出できない不具合を対策		●				
22	システム起動中に障害発生した場合の採取情報を強化、改善			●			
23	システム起動中にバスアンコレクタブルエラーが発生し、再起動することがある不具合を対策		●		03-21 (EFI:04-03) (BMC:03-15)	↑	↑

5. BS520H A2/B2 サーバブレード ファームウェアバージョンと対応機能

No.	機能及び変更点	分類			サーバブレード ファームウェア	関連ファームウェア		備考
		機能 追加	不具合 対策	その他 変更		マネジ メント モジ ュ ル	Virtage (HVM)	
1	新規リリース	-	-	-	04-15 (EFI:10-23) (BMC:04-11)	A0160	01-60	

6. Virtage (HVM) ファームウェアバージョンと対応機能

No.	機能及び変更点	分類			Virtage ファームウェア	関連ファームウェア		備考
		機能 追加	不具合 対策	その他 変更		マネジ メント モジュール	サーバ ブレード	
1	新規リリース	-	-		01-01	-	-	
2	BS520A A1 サーバブレードサポート	●			01-10	-	-	
3	BS540A A1/B1 サーバブレードサポート	●			01-20	-	-	
4	NUMA機能サポート	●						
5	Red Hat Enterprise Linux 5.7 サポート	●						
6	メモリフラグメントの制限事項を解消	●						
7	特定命令(OSのスピンロック競合処理で発行される命令)による性能低下を対策		●					
8	Logical/Physical Processor Configuratioinスクリーン及びAllocated FC Informationスクリーンにおいて無効キーを入力するとシステムダウンすることがある不具合を対策		●					
9	LTD(Linux Tough Dump)実行中に、まれに強制リブートが発生する不具合を対策		●					
10	Emulex 10Gb 4ポートLAN拡張カード又はEmulex 10Gb 4ポートコンバインドネットワーク拡張カードを使用するか、BS520H B1, BS540A B1ブレードにおいてHVMを起動するとまれに共有NICの初期化に失敗する不具合を対策		●					
11	HVMを初めて起動するブレードを複数同時に立ち上げると、まれにハングアップする不具合を対策		●					
12	Virtage Navigator等を用いたブート設定において、CD/DVD-FrontがCD/DVD-KVMと表示される不具合を対策		●					
13	Virtage Navigator又はManagementModuleより、LPARのネットワークセグメント識別子を追加設定した場合、対象LPARに設定済みのVLAN情報等がデフォルトに戻ってしまう不具合を対策		●					
14	仮想NICドライバが非推奨設定の状態ではIPv6パケット通信が発生すると同一仮想ネットワークセグメントの仮想NICがリンクダウンし、使用不能になる不具合を対策		●					
15	HBAポート閉塞時、ディスク装置に発行したSCSIコマンドがリセットされない不具合を対策		●					
16	スケジューリングモードの「共有」設定を更新すると、LPAR障害とHVMが誤判定し、当該LPARが使用不能となる不具合を対策		●					
17	CPU使用率の算出において、論理プロセッサの切り替え処理時間の一部が、HVMのシステム処理時間に加算していない不具合を対策		●					
18	Windows Server 2012をサポート	●			01-30	-	-	
19	LPARマイグレーション(コンカレントメンテナンスモード)サポート	●						
20	HVMが使用するタイマカウンタを、CPU周波数をベースに設定可能なオプションを追加	●						
21	RHEL6でのOSダンプ採取時間がBASIC環境と比較して3倍程度に延びる場合がある不具合を対策		●					
22	Virtage Navigator、マネジメントモジュールWebコンソール、およびHVMSHコマンドによるオンボードNICのロット番号表示が、サーバブレードの搭載位置に関係なく、"G0"となる不具合を対策		●					
23	LPARに80GB以上のメモリを割り当てている場合、そのLPARをアクティベートすると稀にシステムダウンとなる場合がある不具合を対策		●					

24	設定可能なVNIC System No の範囲を1~1024に拡張	●			01-40	A0150	-			
25	HVM Webシステムで、Internet Explorer 9 をサポート	●								
26	Windows Server 2012上でのLPARマイグレーション(コンカレントメンテナンスモード) サポート	●								
27	次のメモリ容量を割り当てたLPARを ActivateするとHVMがシステムダウンする場合がある不具合を対策 ・58,112MB以上			●						
28	Virtage Navigator、マネジメントモジュール Webコンソール、またはHvmShコマンドを用いて BootOrderを登録する際に、13個以上登録すると、LPARハングアップが起きる可能性がある不具合を対策			●						
29	LPARマイグレーション(コンカレントメンテナンスモード) 実行中に、当該LPAR上のゲストOSのシャットダウンまたはリブートを実行した場合、システム停止に至る可能性がある不具合を対策			●						
30	次の条件(a)(b)のいずれかを実施した場合、HVMの起動処理が正常に完了せず、ブレードのリポートが発生することがある不具合を対策			●						
31	次の条件(a)(b)のいずれかを実施した場合、HVMの起動処理が正常に完了せず、ブレードのリポートが発生することがある不具合を対策 (a) BS540Aサーバブレードで、次の(i)(ii)の双方を満たすハードウェア構成でHVMを起動 (i) 2.0GHz CPUを4ソケット搭載 (ii) Broadcom 1G 8portLAN拡張カードを2枚搭載 (b) 電力キャッピングを有効に設定した状態でHVMを起動			●						
32	ゲストOSに Red Hat Enterprise Linux 6を使用しているLPARに対し、LPARマイグレーション(コンカレントメンテナンスモード)を実行した場合、当該ゲストOS上で動作中のアプリケーションの処理が約10秒停止したり、“Clocksource tsc unstable” というエラーメッセージが出力される場合がある不具合を対策			●						
33	Red Hat Enterprise Linux 6.4 サポート	●						01-50	↑	-
34	32GB DIMMを搭載し、任意のLPARに32GB以上割り当てた場合、当該LPARのメモリ容量が32GB毎に1MB多く見える不具合を対策			●						
35	FC-HBAのスケジューリングモード(FC占有/FC共有モード)の切り替えが繰り返された場合、システムがハングアップする可能性がある不具合を対策			●						
36	BootOrderの先頭がOSインストールされていないLUでも、次のBootOrderがインストールCDである場合には、インストールCDを起動するように改善			●						
37	LPARマイグレーション(コンカレントメンテナンスモード)実行中のCPU負荷を軽減			●						
38	HCSM(Hitachi Compute Systems Manager)サポート	●			01-51	A0155	-			
39	LPARマイグレーション(コンカレントメンテナンスモード)、実施時に、移動先ブレードのLPARマイグレーション開始・完了を通知するJP1/SC/BSMのアラートメッセージで、移動元と移動先のIPアドレスを逆に表示している不具合を対策			●						
40	LPARマイグレーション(コンカレントメンテナンスモード)が、ゲストの高負荷でタイムアウトした際、稀にゲストOSがシステムダウンに至る場合がある不具合を対策			●						

41	CPUを占有モードに設定しているLPARにおいて、OSブートが遅くなる場合がある不具合を対策		●				
42	次の条件(a)(b)共に合致するLPARにおいて、I/O性能が低下する場合がある不具合を対策 (a)論理CPUを17個以上割り当て (b)次のPCIデバイスを占有モードで使用 ・Emulex 10Gb オンボードLAN ・Emulex 10Gb LAN拡張カード ・Emulex 10Gb コンバインドネットワーク拡張カード		●				
43	BS520H A2/B2 サーバブレードサポート	●			01-60	↑	-
44	時刻制御に関して、次の(a)(b)をサポート (a)時刻差分情報の自動保存機能 (b)LPARのRTC時刻をあわせる方法として ・UTC時刻にあわせる ・タイムゾーンを指定して合わせる	●					
45	LPARマイグレーション(コンカレントメンテナンスモード)実施時に、FCスイッチでWWN重複の警告が検出される場合がある不具合を対策		●				
46	マネジメントモジュールのファームウェアアップデートを実施すると、まれに、HVM Assist障害が発生し、管理サーバへのアラート通知に失敗することがある不具合を対策		●				
47	HVM管理バスにデフォルトゲートウェイ設定を必要とするネットワーク構成のとき、HVMの起動に失敗またはHVM起動完了後に通信障害が発生することがある不具合を対策		●				
48	HVMの省電力設定(PhyCPU C-State(>=C3))がEnableに設定されていて、LPARに共有モードで割り当てているCPUの負荷が低いときに、当該LPARにおいて、OSブートやI/O処理の応答が遅くなる場合がある不具合を対策		●				
49	LPARをリモートコンソールに接続したときの、Video描画性能を向上			●			
50	USB DVD-ROMドライブ及びリモートCD/DVDの読み込み処理改善により、OSインストール時間を改善			●			

7. BS500 装置パラメータバージョンと対応機能

No.	機能及び変更点	分類			装置パラメータ	関連ファームウェア	備考
		機能追加	不具合対策	その他変更			
1	新規リリース	-	-	-	1007		
2	BS520A A1サーバブレードサポート	●			1008		
3	ストレージ拡張ブレードサポート	●					
4	BS540A A1/B1サーバブレードサポート	●			1009		
5	Emulex製8Gbps FC拡張カードでFCポートがLink-upしない場合がある不具合を対策		●		1010	内蔵ファイバチャネルスイッチ(FCSW)ファームウェア FOSv6.3.2d1(*1)	(*1)本不具合対策を行うには、合わせてFCSW FOSv6.3.2d1を更新してください。FOSは、弊社ファームウェアダウンロードサイトから申請を行い入手ください。
7	10Gb LANパススルーモジュールサポート	●			1011		
8	PCI拡張ブレードサポート	●			1012		

注意事項

BS500 ファームウェアセット一覧

No.	ファームウェアセット Ver.	マネジメントモジュール ファームウェア	辞書	装置パラメータ	サーバブレードファームウェア				Virtage (HVM)
					BS520H A1/B1	BS520A A1	BS540A A1/B1	BS520H A2/B2	
1	120500	A0108	A0024	1007	01-27	-	-	-	01-01
2	120700	A0120	A0035	1008	01-37	02-09	-	-	01-10
3	120800	A0120	A0041	1008	01-43	02-15	-	-	01-10
4	120900	A0125	A0053	1009	01-43	02-15	03-04	-	01-20
5	121000	A0125	A0053	1009	01-52	02-22	03-04	-	01-20
6	121100	A0125	A0053	1010	01-55	02-26	03-07	-	01-20
7	121101	A0135	A0060	1010	01-59	02-29	03-10	-	01-30
8	130300	A0145	A0062	1011	01-63	02-33	03-14	-	01-30
9	130600	A0150	A0067	1011	01-70	02-38	03-20	-	01-40
10	131000	A0155	A0067	1011	01-72	02-40	03-21	-	01-51
11	131001	A0160	A0073	1012	01-72	02-42	03-21	04-15	01-60